



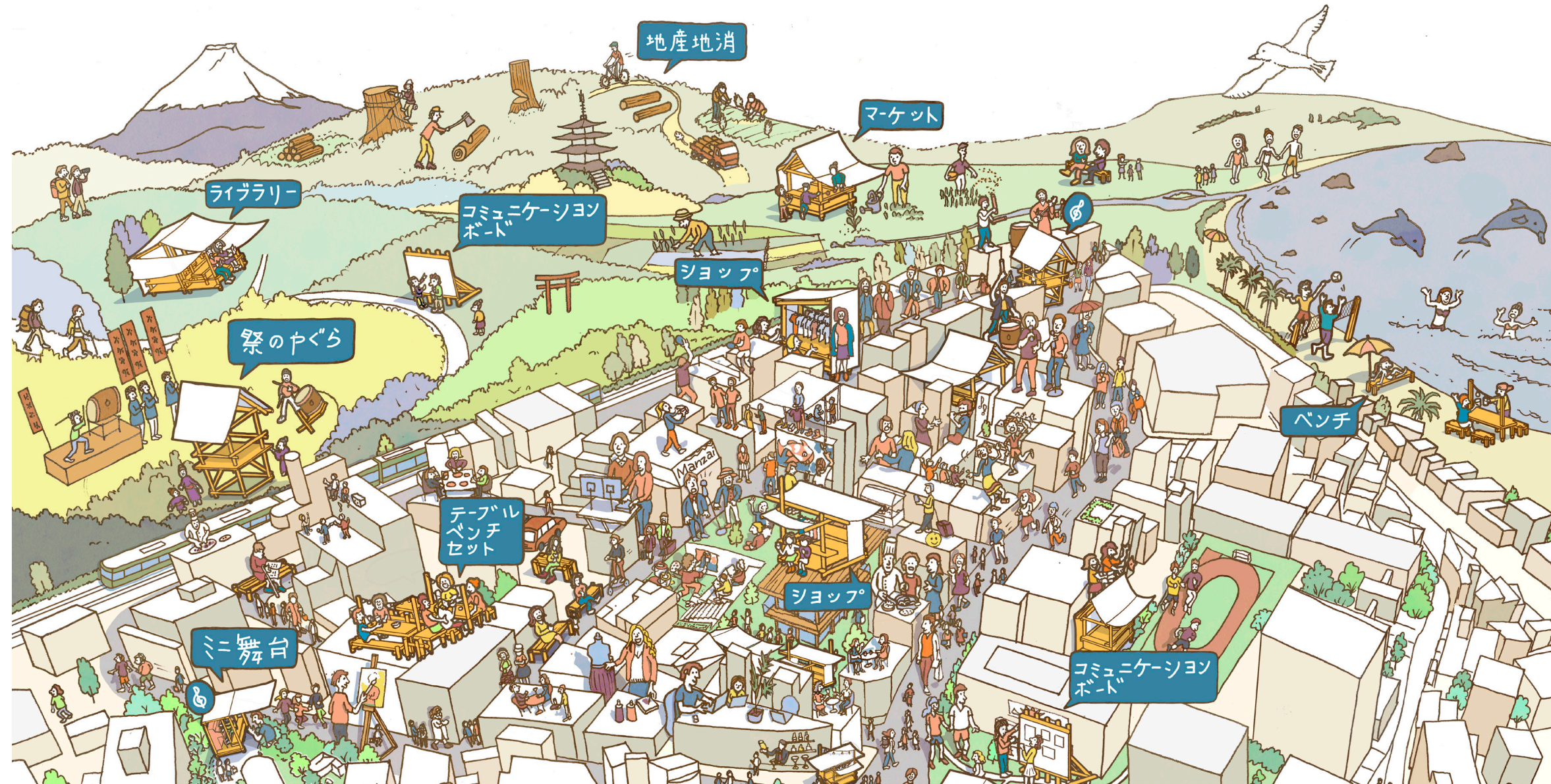
つな木

暮らしも、あそびも、もしもの時も
木をつないで 人をつなぐ場をつくろう

どこでも手に入る木材と専用クランプを使って
自由な用途とサイズで空間を組み立てられる
「つな木」。

誰でも簡単に組み立てられるので、
普段の生活はもちろん、
特別なイベントや非常事態にも、
その時に必要な空間を、自分たちの手で
つくることができます。

木を使い続けることが、
木材資源の循環をうながし、
森林の健全な働きを維持することにつながります。
「つな木」が木と人を豊かにつないでいく、
そんな未来をわたしたちは描いています。



木材にも収穫期があるのをご存知ですか？

日本では15年間で8億3千万 m^3 の木材を

収穫する計画があります (H30全国森林計画)

収穫→使う→植える→育てる→収穫と

森林の循環利用により

木材の利用促進のほかに

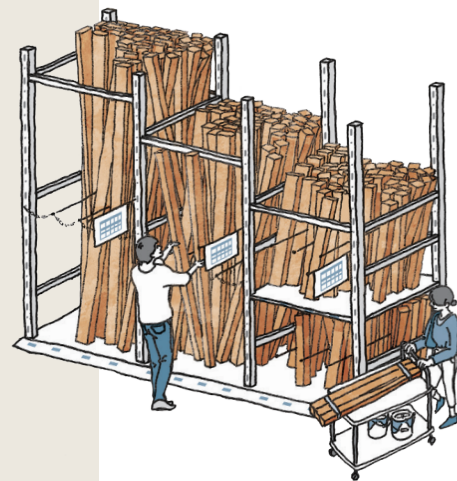
水源の保持 災害の防止 環境保全等

森林の働きを維持することができます



「つな木」のつなぎかた

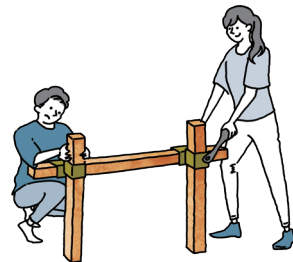
木材と専用クランプで、自在に空間をつくることのできる「つな木」。
木材の難しい加工がなく、重たいものを扱う作業もないので、
だれでも簡単に組み立てと組み換えができます。



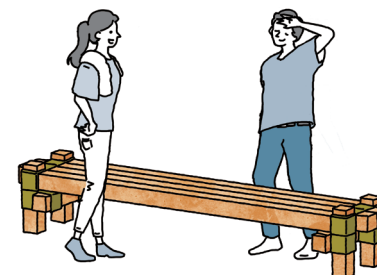
1 街の材木店などで
手に入る木材を



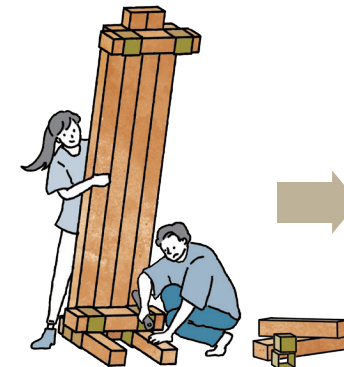
2 運んで



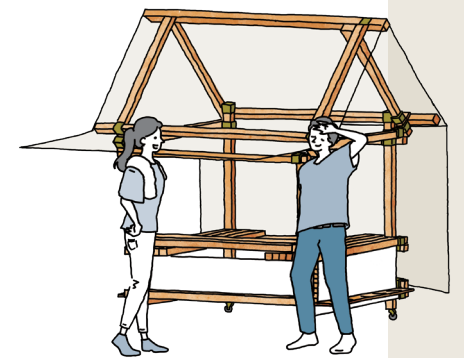
3 組み立てると…



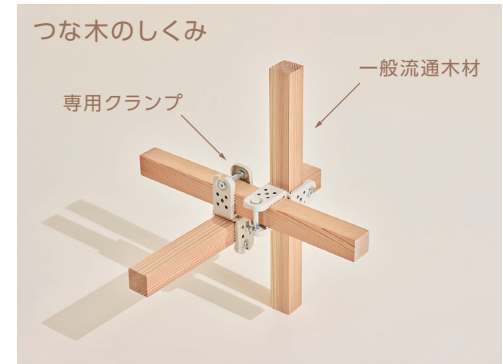
4 できあがり!



5 組み換えると…



6 別のものに!





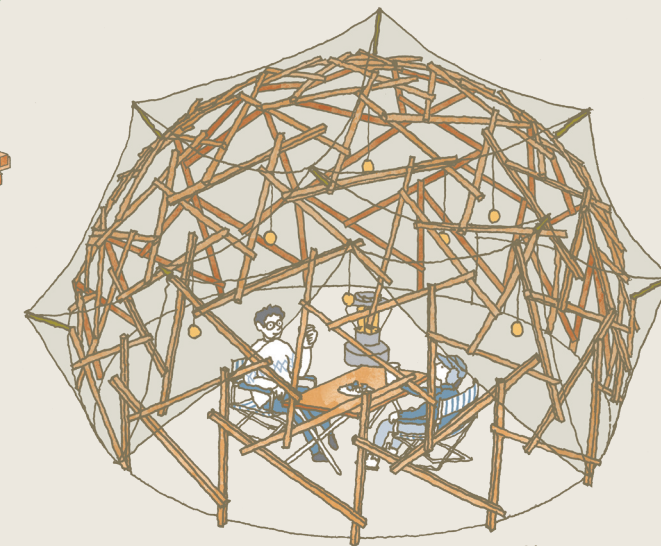
テーブル・ベンチセット



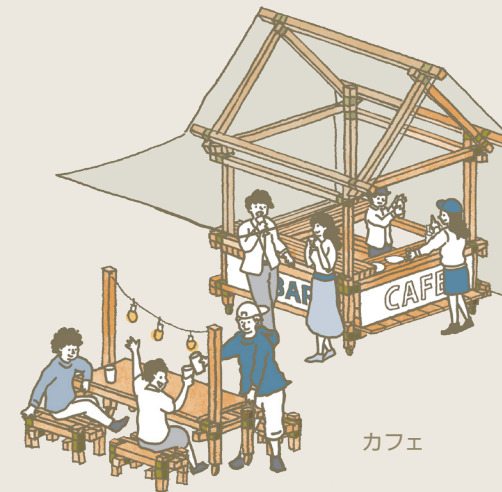
シェルフ



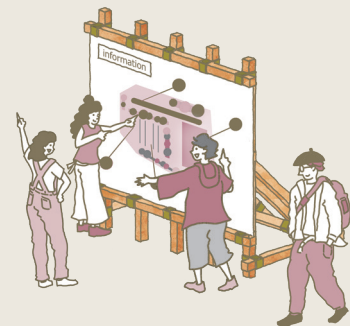
ツリーサークル



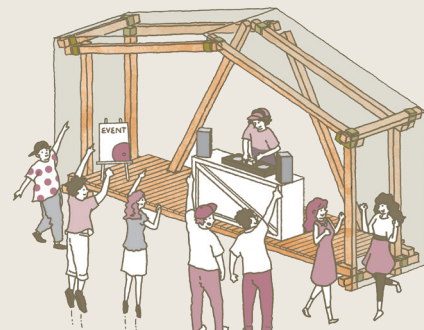
ドーム



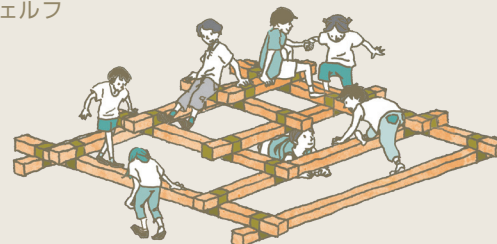
カフェ



コミュニケーションボード



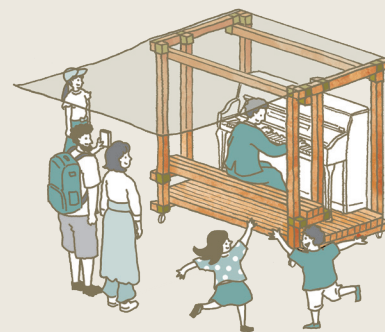
DJブース



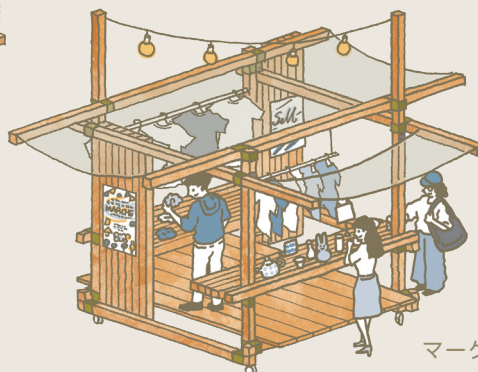
アスレチック

「つな木」は 多彩なニーズに答え

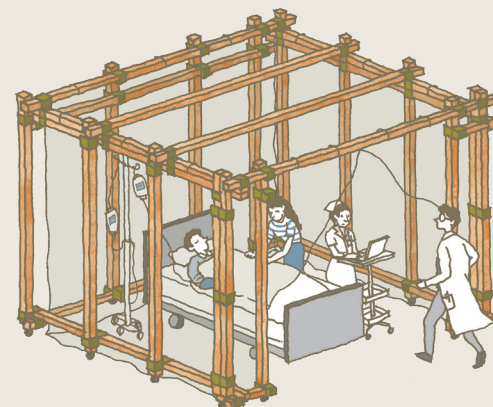
活用の幅を広げていきます



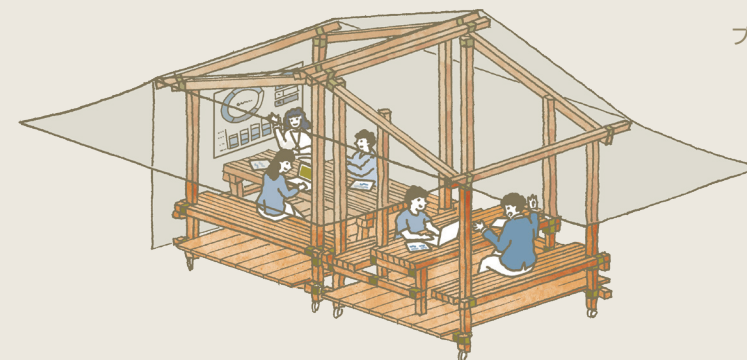
ミニ舞台



マーケット



仮設医療ブース



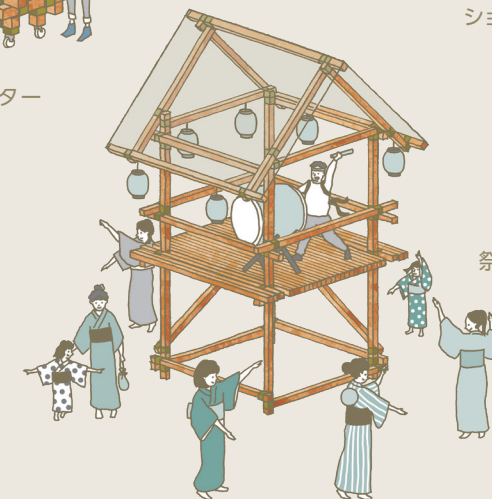
オフィス



プランター



ショップ



祭りのやぐら

つな木 製品ラインアップ

だれでもつな木の空間を生み出せる 製品ラインアップ

だれでも組み立てて使えるつな木キットから
つな木を通じて木や森林を学ぶ木育ワークショップなど、
つな木活用の“入口”となります。



どこでもつな木キット 1畳サイズのユニットを組み合わせて自由な空間を生み出す



もしもつな木キット 普段のブースやベンチが非常時に医療・避難用空間として活躍する



つな木パーツ 専用のクランプ金具やキャスターが
つな木のアイデアを生み出す



つな木の雰囲気をもつカラークランプ



つな木の可動性を高めるキャスター



木育ワークショップ つな木の組み立てを通して木や森を知る
「木育」の場を生み出す

つな木 製品ラインアップ 1

いつでもどこでも自由な空間づくり どこでもつな木キット

会議ブースやポップアップショップなど、
1畳サイズの小さな空間をつくることができるキットです。
複数台組み合わせることで
使い方や場所にぴったりの自由な空間を演出でき、
“仕事も、あそびも、もしもの時まで”
多彩でフェーズフリーな使い方が広がります。



どこでもつな木 利用シーン

Telework



1人が快適な最も小さなユニットによる空間。シートで囲うと、周りの環境から仕切られたリモート会議や集中作業スペースになります。

Shop



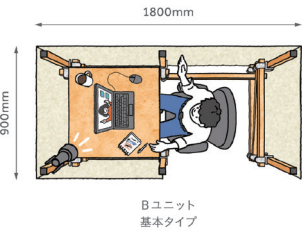
広いカウンターのある開放的なショップ。2台を組み合わせることで空間が広くなり、使いやすいポップアップショップになります。

Communication



複数人が集まれる落ち着いたミーティングブース。3台を組み合わせることで、適度な距離感を保つ打合わせスペースになります。

テレワークブース

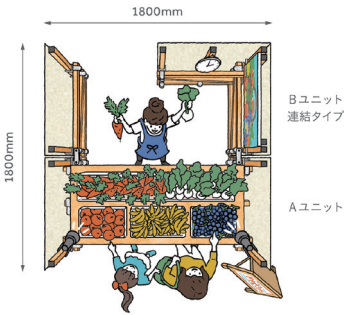


Fitting



プライバシーを確保できる更衣室や授乳室にもなります。1畳サイズのため場所をとらず、シートのファスナーも内側からも開け閉めできて安心です。

ショップ

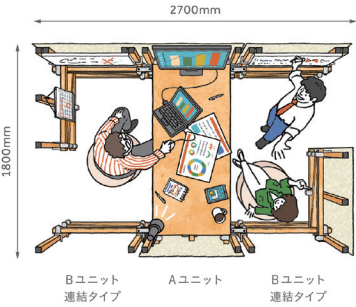


Cafe



側面と天井をシートで覆うと、安心して飲食物を提供できるカフェショップになります。フレームとなる角材を活かして、サインや照明の取り付けも簡単です。

会議ブース



Event



ユニットの間隔を広げて配置すると、空間を大きく活用できるブースになります。壁シートをユニット間の上部に渡すことで日除けデントとして利用できます。

災害や非常時にそなえる もしもつな木キット

普段は家具として使い、非常時には医療ブースや避難所に適したサイズの
個室空間に組み換えられるキットです。もしもの時の備えとしても役立ちます。



イベント時にはカフェブースに組み換え。
広い空間の間仕切りにも利用できます。



HEPA 換気ユニット(陽圧)を取り付ければ、
オフィスの会議ブースとしても。



普段は木のベンチとして、憩いのスペースに。



シートを取り付けて簡易の個室空間が作れます。
ワクチン接種ブースや避難所などに。



HEPA 換気ユニット(陰圧)を取り付けて、
感染症の病室ブースや診察室に。

もしもつな木キットの内容

基本のオープンブースに必要なパーツを組み合わせて、用途に合わせた空間をつくることができます。

オープンキット

木材 2.8m 9本
木材 2.1m 12本
木材 0.5m 2本
クランプ 37個
キャスター 6個
シート(天井用)

オープンブース
カフェ

個室キット

シート(側面用)

個室ブース
ワクチン接種

清浄個室キット

木材 2.1m 1本
木材 1.9m 1本
木材 0.25m 1本
クランプ 7個
キャスター 1個
シート(側面用)
HEPAフィルタ 1台

清浄個室ブース(陽圧)
会議

清浄個室ブース(陰圧)
簡易治療

ベンチ組み換え用キット

木材 0.5m 26本
クランプ 47個
キャスター 8個

ベンチ



個室キット



清浄個室キット



1台のブースは2台のベンチに組み換えられます

ベンチ(大) 幅2.8m×奥行き0.5m 高さ約0.5m
ベンチ(小) 幅2.1m×奥行き0.5m 高さ約0.5m



オープンキット

ブース 幅2.8m×奥行き2.8m 高さ約2.2m

つな木の 活用事例

1 畳のサイズのユニットで自由な空間を生み出す「どこでもつな木」、普段は家具として使い、非常時には医療ブースや避難ブースとして組み換えできる「もしもつな木」。誰でも簡単に組み立てできる手軽な“つな木キット”が木と人を豊かにつないでいきます。



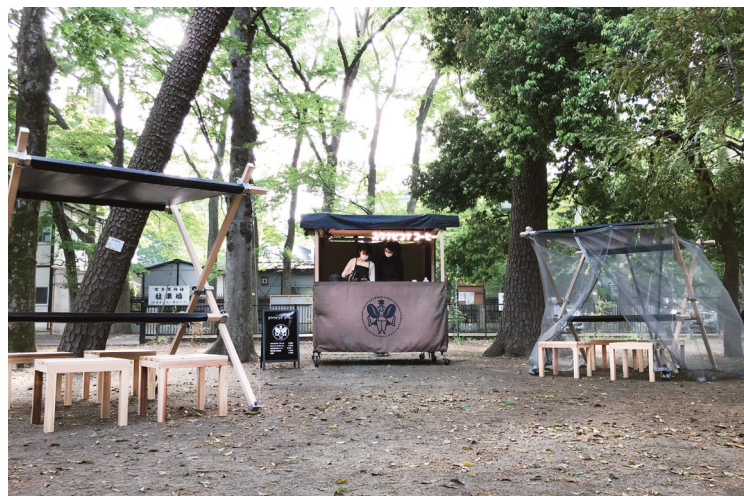
オフィスとマルシェをつなぐ 日建設計での「ワークブース×どこでもつな木」
どこでもつな木はポップアップショップや簡易ワークプレイスとして活用できます。
普段は閑静なオフィス街に、にぎわいと交流の場が生まれました。



公園と人をつなぐ 渋谷区立北谷公園「ポップアップ×どこでもつな木」
都市の 遊休空間を様々な活動の場所とするプロジェクト「YOURPARK」。日によって
どこでも つな木の配置の仕方を変えることで、地域の店舗のポップアップショップや休憩
場所、ワー クプレイス等として利用され、多彩なアクティビティを公園内に生み出します。



医療の現場をつなぐ 足利赤十字病院での「もしもつな木」
普段はベンチやカフェブースとして使用しているもしもつな木を、
緊急時には仮設医療ブースに組み換えることができます。
コロナ感染者用の病床確保対策として利用できます。



神社とカフェをつなぐ 神社境内での「カフェ×どこでもつな木」
神社の境内に森林浴とコーヒーが楽しめるカフェ。木々の下でつな木が点在する
居心地のよいカフェ空間です。組立は地域の子供たちと共に行いました。
地域の人々と神社をつなぐきっかけとしてもつな木は活躍します。



まちづくりで人をつなぐ 久屋大通公園での「イベント×どこでもつな木」
街の 象徴である久屋大通公園の再整備に向けた「公園の新しい可能性」を発明する
イベントが開 催され、組立ワークショップを行いどこでもつな木が飲食スペースなどとして
置かれました。自然と“人々が集い、コミュニティが生まれて、ここから
新しい カルチャーを生み出していく。”公園の新しい可能性を提案する取り組みです。



植物と人をつなぐ (株)グリーンディスプレイ「植物×もしもつな木」
ニューノーマル時代に求められる持続可能な
“人と自然が共生する空間”を目指してショールームをリニューアル。
「もしもつな木」を活用して緑あふれる空間を生み出しました。

つな木の 活用事例

様々なシーンにおける「つな木」を使った空間デザインや、木育ワークショップの企画も行っています。「つな木」が人と人をつなぎ、豊かな社会をつくるお手伝いをします。



茶道とこどもたちをつなぐ 京都ロームシアター「いのちが高まる茶室」
こどもたちも含めたみんなで、自分たちなりのお茶の世界を作り出すことに挑戦。お茶をいただくという体験、そして茶室および茶室に至るまでの空間体験を通して、「今」の、そしてちょっと「未来」の茶室を模索しました。



地域の遊休地をつなぐ ポロシリ自然公園「つな木遊びフィールド」
遊休地をいかして地域の資源や食、人材の新しい関係性をさがす取り組みを行いました。つな木のシステムを活かしたカタチ「つな木ドーム」づくりに挑戦しました。



ワークスペースをつなぐ 徳島県庁スマート林業課「オフィスの木質化トライアル」
ワークスペースのインテリアとして、職員のみなさんがつな木を組み立てました。つな木をレイアウトに応じて組み換えて、迅速なコロナ対策が実施できました。



食のコンテンツで人をつなぐ エッジニア合同会社「展示ブース」
すべての人に「幸福な食卓」を届けることを目指して食をテーマとしたコンテンツを軸に多様な立場の人と出会い、直接対話をするために出展しました。出展者でもある著名なYouTuberの地元である出雲大社の千木をイメージしたつな木で来場者をもてなしました。



モビリティと情報をラウンジでつなぐ 東急百貨店本店+渋谷ソラスタ「SMILE」
人々がゆっくりと集い交流できる「小さな拠点」をまちなかに生み出していくことでこれからのまちづくりの可能性を探る社会実験が催されました。



子どもと森をつなぐ 昭和学院小学校「木育ワークショップ」
6年生が森や木材のことを学び、自分たちの手でつな木作品を完成させることでSDGsを身近に体験できるワークショップが開催されました。

Nikken Wood Lab



企画・プロデュース

株式会社日建設計 | Nikken Wood Lab

新規ビジネスを募る(株)日建設計の社内ベンチャーとして立ち上がった都市木造の専門チーム。

「先進的な」中大規模木造建築への挑戦と「誰でも手に取れる」極小木造へのアプローチの両輪で活動。

森林の循環利用による木材の利用促進と同時に木材をユーザーが自由に組立てできる仕組みを考えることで、今までになかった「空間を衣服のように着替える」ふるまいを実現し、自然と人が主役となるまちづくりを目指す。

製造・販売

三進金属工業株式会社

創業から半世紀を経た国内最大規模の生産能力を誇るスチールラックメーカー。自然や地域との共生による豊かな社会を目指して福島県でファクトリーパークを整備し、様々な緑化活動や社会貢献活動にも取り組む。

木材利用促進による森林保全活動と、人々の出合いを“つなぐ”プロジェクトの想いに共感し、クランプ金具の開発・設計を行う。つな木の製造・販売を通して循環型社会の実現を目指す。



お問い合わせ

<https://tsunagi-wood.jp>